

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要
事業開始年度: 昭和46年度
根拠法令・例規等: 備前市児童福祉年金条例
問担当課(室): 社会福祉課
合職・氏名: 係長・大道健一
先電話: 64-1824
このシート作成に要した時間: 0.5時間

事業の目的
対象(誰・何に対して): 市内在住の20歳未満の者で、身体障害者のうち障害程度が5級以上の者又は知能指数がおおむね50以下であって知的障害の状態にあると判定された者。
目的(何のために): 心身に障害のある児童に対して年金を支給し、その児童を慰謝激励し福祉増進を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか): 心身に障害のある児童に対して年金を支給し、その児童を慰謝激励し福祉増進を図る。

事業の実績
細事業名: 児童福祉年金給付事業
事業の説明: 心身に障害をお持ちの20歳未満の児童を監護する保護者に児童福祉年金を支給する。
優先度: O
目的を達成するため実施した事業

事業費等
単位: 千円
平成19年度実績: 1,245
平成20年度実績: 1,076
平成21年度実績: 1,034
決算額
事業費: 必要人員人件費(0.06人/421), 事業費計(1,666), 国県支出金, 受益者負担, 繰入金債, その他(), 一般財源(1,666), 受益者負担比率(-)
結果指標名: 児童福祉年金受給者数
単位: 人
平成19年度実績: 102, 平成20年度実績: 89, 平成21年度実績: 88
対前年比: 87.3%, 98.9%
活動コスト: 1,666,000円, 1,152,000円, 1,128,000円
単位当たりコスト: 16,333円, 12,944円, 12,818円

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業の成果
成果指標名: 児童福祉年金受給率
年度: 平成19年度(目標100, 実績100, 達成率100.00%), 平成20年度(目標100, 実績100, 達成率100.00%), 平成21年度(目標100, 実績100, 達成率100.00%), 平成22年度目標値(100)
成果指標設定の考え方・式や説明: 児童福祉年金受給者数/児童福祉年金支給対象者数 x 100 (%)

事務事業の評価
妥当性の評価: 市の関与の妥当性(必要)
コスト: 効率性の評価
目的達成度: 市民参画度
妥当性評価: C
効率性評価: B
有効性評価: B

留意事項
留意する目的やその数値の評価指標を評価して下さい

進行年度(H22年度)の改革改善内容
状況: 〇
説明: 条例で定めた事業であり、他に変わる制度がないため必要な制度である。

総合評価
評価区分: B
妥当性: A
有効性: B
効率性: C

平成23年度の方向性及び取組目標
方向性: 〇
取組目標: 条例で定めた事業であり、他に変わる制度がないため現状を継続していく必要がある。